



2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月10日

上場会社名 ソマール株式会社

上場取引所 東

コード番号 8152 URL <http://www.somar.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 曾谷 太

問合せ先責任者 (役職名) F&A部長 (氏名) 今井原 俊彦

TEL 03-3542-2152

四半期報告書提出予定日 2021年2月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|--------|------|------|------|------|------|----------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2021年3月期第3四半期 | 13,845 | 13.1 | 70 | 63.2 | 112 | 44.6 | 247 | 256.1 |
| 2020年3月期第3四半期 | 15,929 | 10.1 | 191 | 76.8 | 203 | 76.5 | 69 | 90.7 |

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 54百万円 (64.4%) 2020年3月期第3四半期 153百万円 (63.2%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益 |
|---------------|-------------|------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2021年3月期第3四半期 | 127.55 | |
| 2020年3月期第3四半期 | 35.81 | |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2021年3月期第3四半期 | 19,800 | 12,319 | 62.2 |
| 2020年3月期 | 19,875 | 12,362 | 62.2 |

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 12,319百万円 2020年3月期 12,362百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2020年3月期 | | 0.00 | | 50.00 | 50.00 |
| 2021年3月期 | | 0.00 | | | |
| 2021年3月期(予想) | | | | 50.00 | 50.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|------|------|------|------|------|---------------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 19,000 | 10.0 | 90 | 66.7 | 140 | 51.3 | 260 | 47.9 | 134.02 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
なお、特定子会社の異動には該当していませんが、第2四半期連結会計期間より、NiKKi Fron (Thailand) Co., Ltd.を持分法適用の範囲に含めております。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|-------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2021年3月期3Q | 1,958,734 株 | 2020年3月期 | 1,958,734 株 |
| 期末自己株式数 | 2021年3月期3Q | 18,715 株 | 2020年3月期 | 18,631 株 |
| 期中平均株式数(四半期累計) | 2021年3月期3Q | 1,940,063 株 | 2020年3月期3Q | 1,940,357 株 |

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P3'1:当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明、をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (当四半期連結累計期間における子会社等の異動) | 8 |
| (追加情報) | 8 |
| (セグメント情報) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大に対する政府の経済支援策や、グローバル市場におけるIT市況の改善等により、一部業界では緩やかな回復の兆しが見受けられたものの、新型コロナウイルス感染症拡大の第3波により、世界経済及び事業環境が再び悪化し、企業業績は極めて厳しい状況が続いております。海外市場では中国を中心に景気の回復基調が高まってきているものの、国内外では、感染が再度広がっており、更なる世界経済の悪化への懸念や不透明感が強まっています。今後の経営環境については、一定の感染症対策及びワクチン接種の実施により、経済活動の再開と自粛を繰り返す中で、徐々に持ち直していくものと見込んでおりますが、本格的な回復には相当な時間を要することが想定されます。

こうした状況下で当社グループは、引き続きグループの特長を生かした事業運営とスピーディーな経営判断を心がけ、関係するグローバルな成長市場とともに、今後市場拡大が見込まれる高速5G通信・半導体・次世代自動車分野等への差別化した製商品の拡販、新規顧客の開拓、バイオマテリアルを含めた国内外の産学連携の加速に注力しつつ、顧客に密着した生産・物流体制の更なる改善にも取り組んでまいりました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の拡大は、受注環境にも広範な影響を及ぼしており、主要な関係業界の受注動向の減退により、当社グループの業績は厳しい状況が続いております。

その結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高が138億4千5百万円（前年同四半期比13.1%減）、営業利益が7千万円（前年同四半期比63.2%減）、経常利益が1億1千2百万円（前年同四半期比44.6%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益が2億4千7百万円（前年同四半期比256.1%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

[高機能材料事業]

スマートフォンなどの電子機器業界向け関連製商品の販売では、海外の一部において新型コロナウイルス感染症拡大の影響が継続しているものの、新機種端末等の販売動向が低迷した前年度上期の低調な水準から持ち直しつつあり、関係するコーティング製品やフィルム表面加工製品並びに関連高機能フィルム商品といった差別化製商品の販売が回復基調で推移しました。一方、自動車部品業界向け製商品の販売では、主力の自動車部品業界向け電気絶縁用樹脂製品の販売が、新型コロナウイルス感染症拡大による生産調整の影響が緩和され、国内や中国市場においては回復基調にあり、前年同期並の水準を維持しましたが、機能性樹脂商品の販売は、大幅な落ち込みとなりました。その結果、当事業全体の売上高は103億4千2百万円（前年同四半期比10.1%減）、営業利益は9千7百万円（前年同四半期比65.2%減）となりました。

(主な製商品群の概況)

| 製商品群 | 概況（数値は前年同四半期との対比） |
|----------|--|
| コーティング製品 | スマートフォン向け製品の販売は、新機種端末等の販売動向が回復しつつあり、複数のカメラを搭載する多眼化ニーズも相まって、フィルム表面加工製品の販売が堅調に推移しましたが、電子部品・部材製造用製品の需要が依然として低迷していることから、11.2%の減収となりました。 |
| 高機能樹脂製品 | 主力の自動車部品業界向け電気絶縁用樹脂製品や、電気・電子機器のセンサー用樹脂製品の販売は、国内や中国市場で復調しつつあり、建材用途向け樹脂製品の販売も、徐々に売上に貢献しているものの、海外の一部での新型コロナウイルス感染症拡大による需要の落ち込みの影響により、6.8%の減収となりました。 |
| 電子材料 | 電子機器向け回路基板材料の販売は、新規採用等により増収となりましたが、重電向け絶縁材料などの販売は、一部海外における新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、9.5%の減収となりました。 |
| 機能性樹脂 | 熱可塑性樹脂及び回路基板向け熱硬化性樹脂の販売は、特に上半期において、自動車部品用途で新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて需要が低迷し、18.4%の減収となりました。 |

[環境材料事業]

主要な販売先である製紙業界では、新聞・塗工紙の市場が低迷しているものの、板紙・生活産業用紙の使用用途が拡大しており、当社グループにおいても、市場ニーズに応じて、特長を生かした差別化製商品の拡販と新たな用途や周辺市場の開拓等に取り組んでまいりました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、主要な顧客である製紙会社での操業が大幅に短縮したことで、当事業における製商品の売上は減少いたしました。特に、紙塗工用バインダーは、顧客操業の短縮に加え、原油価格及び原料モノマーの大幅な下落に伴う販売価格の

引き下げなどにより減収となりました。その結果、当事業全体の売上高は24億2千7百万円（前年同四半期比27.3%減）、営業利益は3千1百万円（前年同四半期比102.4%増）となりました。

（主な製商品群の概況）

| 製商品群 | 概況（数値は前年同四半期との対比） |
|-----------|---|
| ファインケミカルズ | 堅調な段ボール等の板紙関連や、製紙分野以外の用途向けにも注力しつつ、多機能凝結剤の新規販売活動に努めたことで、一部製品売上に寄与しましたが、競合他社との厳しい競争に加え、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、12.9%の減収となりました。 |
| 製紙用化学品 | 新型コロナウイルス感染症拡大による顧客操業の短縮の煽りを大きく受けるとともに、特に、紙塗工用バインダーが、原油価格や原料モノマーの下落により、大幅に減少したことで、31.5%の減収となりました。 |

〔食品材料事業〕

食品材料事業では、健康に優しく特長ある天然の食品素材を主要な取り扱い商品としており、的を絞った施策の下に、食品業界などへの拡販に鋭意注力してまいりました。これに加えて、これまでの営業活動で蓄積した食品に関わる様々な情報や技術を活用して、新規商材の発掘や市場の開拓、更には、独自性の発揮できる新規複合食品素材の開発といった新たなテーマにも積極的に取り組んでおります。当第3四半期連結累計期間の販売では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、外食産業の事業環境が悪化したことにより、業務用加工食品向けは落ち込んだものの、家庭用加工食品向けの需要が伸びたことで、乾燥野菜の販売は、前年同期四半期を上回りました。その結果、当事業全体の売上高は10億4千2百万円（前年同四半期比1.5%増）、営業利益は1億2千7百万円（前年同四半期比49.9%増）となりました。

（主な製商品群の概況）

| 製商品群 | 概況（数値は前年同四半期との対比） |
|-------|--|
| 食品素材等 | 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、業務用加工食品向けの需要が低迷しているものの、在宅勤務等による巣籠消費が拡大したことで、家庭用加工食品向けの需要が増加し、1.5%の増収となりました。 |

〔その他の事業〕

当社グループの成長を支える新たな事業領域を開発・育成すべく取り組んでいる「その他の事業」では、アフリカから輸入した生花を国内で販売する等、新たなビジネスチャンスの可能性を追求するとともに、市場開発用に新たな商材などを導入し、試販等による事業化への検討を行っております。当第3四半期連結累計期間における輸入生花の販売では、平常時に戻りつつあるものの、新型コロナウイルス感染症拡大により、上期において原産地国の空港が封鎖され、不定期航空便の空きスペースを利用しての輸入に制限されたことが大きく影響し、取り扱いが減少しました。その結果、「その他の事業」の売上高は3千3百万円（前年同四半期比43.3%減）、営業利益は0百万円（前年同四半期比98.7%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、198億円となり、前連結会計年度末と比較して7千5百万円の減少となりました。これは主に、現金及び預金が2億9千4百万円増加したものの、機械装置及び運搬具（純額）が1億2千3百万円、投資その他の資産のその他が2億5千4百万円それぞれ減少したことによるものであります。

（負債）

負債については、74億8千万円となり、前連結会計年度末と比較して3千2百万円の減少となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が1億8千3百万円増加したものの、未払法人税等が1千5百万円、賞与引当金が5千1百万円、その他流動負債が1億4千5百万円それぞれ減少したことによるものであります。

（純資産）

純資産については、123億1千9百万円となり、前連結会計年度末と比較して4千2百万円の減少となりました。これは主に、利益剰余金が1億5千万円（2億4千7百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益の計上、9千7百万円の剰余金の配当による減少）増加したものの、為替換算調整勘定が1億9千3百万円減少したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年11月6日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2020年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 5,201,206 | 5,495,707 |
| 受取手形及び売掛金 | 4,931,344 | 4,949,521 |
| 電子記録債権 | 1,308,968 | 1,217,873 |
| たな卸資産 | 2,449,678 | 2,541,161 |
| その他 | 243,348 | 203,269 |
| 貸倒引当金 | △10,580 | △16,500 |
| 流動資産合計 | 14,123,965 | 14,391,032 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 1,541,209 | 1,556,727 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 796,265 | 672,447 |
| 土地 | 393,431 | 376,476 |
| 建設仮勘定 | 142,169 | 130,658 |
| その他(純額) | 87,647 | 102,371 |
| 有形固定資産合計 | 2,960,722 | 2,838,682 |
| 無形固定資産 | 99,063 | 112,638 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 1,393,103 | 1,379,314 |
| 退職給付に係る資産 | 58,666 | 86,986 |
| その他 | 1,755,894 | 1,501,073 |
| 貸倒引当金 | △515,511 | △509,214 |
| 投資その他の資産合計 | 2,692,152 | 2,458,159 |
| 固定資産合計 | 5,751,938 | 5,409,480 |
| 資産合計 | 19,875,904 | 19,800,513 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 3,031,510 | 3,215,130 |
| 未払法人税等 | 56,970 | 41,598 |
| 賞与引当金 | 134,188 | 82,673 |
| その他 | 720,365 | 575,341 |
| 流動負債合計 | 3,943,034 | 3,914,743 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 3,450,000 | 3,450,000 |
| 資産除去債務 | 62,067 | 62,180 |
| 退職給付に係る負債 | 7,564 | 6,964 |
| その他 | 50,889 | 46,750 |
| 固定負債合計 | 3,570,521 | 3,565,894 |
| 負債合計 | 7,513,556 | 7,480,638 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2020年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 5,115,224 | 5,115,224 |
| 資本剰余金 | 4,473,939 | 4,473,939 |
| 利益剰余金 | 1,844,842 | 1,995,288 |
| 自己株式 | △56,964 | △57,095 |
| 株主資本合計 | 11,377,042 | 11,527,356 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 253,305 | 231,779 |
| 繰延ヘッジ損益 | △905 | 1,751 |
| 為替換算調整勘定 | 961,650 | 767,817 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △228,744 | △208,830 |
| その他の包括利益累計額合計 | 985,306 | 792,517 |
| 純資産合計 | 12,362,348 | 12,319,874 |
| 負債純資産合計 | 19,875,904 | 19,800,513 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 売上高 | 15,929,499 | 13,845,218 |
| 売上原価 | 13,383,338 | 11,528,336 |
| 売上総利益 | 2,546,161 | 2,316,881 |
| 販売費及び一般管理費 | 2,354,913 | 2,246,591 |
| 営業利益 | 191,247 | 70,290 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 10,494 | 7,045 |
| 受取配当金 | 48,234 | 40,405 |
| 持分法による投資利益 | — | 3,352 |
| その他 | 20,758 | 24,502 |
| 営業外収益合計 | 79,487 | 75,306 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 20,084 | 12,657 |
| 債権売却損 | 2,253 | 2,010 |
| 為替差損 | 23,788 | 11,728 |
| その他 | 21,540 | 6,611 |
| 営業外費用合計 | 67,666 | 33,007 |
| 経常利益 | 203,068 | 112,589 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | — | 253,497 |
| 特別利益合計 | — | 253,497 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 203,068 | 366,087 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 36,620 | 65,016 |
| 法人税等調整額 | 96,961 | 53,619 |
| 法人税等合計 | 133,581 | 118,635 |
| 四半期純利益 | 69,486 | 247,451 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 69,486 | 247,451 |

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 四半期純利益 | 69,486 | 247,451 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 128,045 | △21,526 |
| 繰延ヘッジ損益 | 3,752 | 2,657 |
| 為替換算調整勘定 | △57,825 | △193,832 |
| 退職給付に係る調整額 | 10,204 | 19,913 |
| その他の包括利益合計 | 84,177 | △192,788 |
| 四半期包括利益 | 153,664 | 54,662 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 153,664 | 54,662 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | — | — |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における子会社等の異動)

第2四半期連結会計期間において、当社の連結子会社であるSiam Somar Co., Ltd.は、NiKKi Fron(Thailand) Co., Ltd.の株式を取得いたしました。これにより、NiKKi Fron(Thailand) Co., Ltd.は関連会社となったため、持分法適用の範囲に含めております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症拡大は現在においても継続しており、今後の拡大規模や収束時期等については不確実性が高い事象であると考えております。

当社グループは入手可能な情報に基づき、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が、2021年3月期の一定期間にわたり継続するという仮定のもとで、繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) | 合計 |
|-----------------------|-------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| | 高機能材 料事業 | 環境材料 事業 | 食品材料 事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 11,504,903 | 3,338,895 | 1,026,792 | 15,870,592 | 58,907 | 15,929,499 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 11,504,903 | 3,338,895 | 1,026,792 | 15,870,592 | 58,907 | 15,929,499 |
| セグメント利益 | 280,401 | 15,459 | 84,891 | 380,752 | 4,365 | 385,118 |

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規開発事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|----------|
| 報告セグメント計 | 380,752 |
| 「その他」の区分の利益 | 4,365 |
| 全社費用(注) | △193,870 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 191,247 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第3四半期連結累計期間（自2020年4月1日 至2020年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) | 合計 |
|-----------------------|-------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| | 高機能材 料事業 | 環境材料 事業 | 食品材料 事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 10,342,328 | 2,427,030 | 1,042,482 | 13,811,841 | 33,377 | 13,845,218 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 10,342,328 | 2,427,030 | 1,042,482 | 13,811,841 | 33,377 | 13,845,218 |
| セグメント利益 | 97,662 | 31,297 | 127,288 | 256,248 | 54 | 256,303 |

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規開発事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|----------|
| 報告セグメント計 | 256,248 |
| 「その他」の区分の利益 | 54 |
| 全社費用（注） | △186,012 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 70,290 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。